デフリンピックってなに？

そもそも、デフってなに？

耳が聞こえない人のことを「デフ」と言います。

日本語を聴者のように「声」で話すデフもいれば、

日本語に合わせて「手指」を使って話すデフもいて、

日本語とは違う言語の「手話」で話すデフもいます。

同じデフ同士でも、日本語と日本手話は言語が違うので、

コミュニケーションがむずかしいこともあります。

引き続きの説明はこちら>>

デフリンピックは、

デフのアスリートたちが競うオリンピックです。

2025年に東京で開かれる「東京2025デフリンピック」は、

日本で初開催、しかも100周年目にあたる記念すべき大会なんです。

もちろん、バスケットボール競技もあります。

デフリンピックにおける、バスケットボール競技ルールは一般と同じです（FIBA準拠）。

補聴器または人工内耳を外した状態で、

聞こえが良い方の耳の平均が55デシベル以上のデフが参加できます。

競技会場では「みんな同じ条件」という平等性を大事にするために、

補聴器や人工内耳などの補装具は禁止されています。

耳に頼らずに目でコミュニケーションしながら

チーム全体で共通認識をとり、気持ちを一つにして、メダルを目指します。

デフバスケットボールってなに？

デフがプレイするバスケットボール競技です。
競技ルールは一般ルールと同じです。
デフバスケットボールの大会などでは様々な合理的配慮がなされています。

だから、「私たちはデフとして」の主体性を大事にして、
色々試して、**デフバスケットボールの特徴**と**魅力**を作り続けています。

Question

車椅子バスケは、車椅子を使いこなしてバスケをしています。
では、**デフバスケットボール**では**何を使いこなしている**のでしょうか。

目で動くバスケットボール

・目で、味方の目を見るのがアイコンタクト
・目で、味方の手を見て判断し合うのがサイン
・目で、コート上の視覚的情報を見て、チーム全員で共通認識を掴み動くのがサインバスケットボール

声出しバイオレーション

後ろの味方から「スクリーン行ったぞ！」やベンチの味方から「リバァン！」などの
意図的なかけ声は聴者に届いてもデフには届きません。
あえて「意図的に声を出すとバイオレーション」という試みに挑戦することで
聴者もデフとみんなで一緒に「目と手で楽しむバスケットボール」を目指しています。

君も**一緒**に、みんなで**一緒**に、
デフバスケットボールを楽しみませんか。

© 2024 Chichun.